



みずから  
ともに  
せいっぱい

義務教育学校阿仁学園  
令和7年度学校報



# さらり

令和7年12月4日(木)  
NO. 16 文責 校長

## ★★★ 12月9日(火)は「みんなの」2学期末PTA！

12月9日(火)に2学期末PTAが行われます。今回は授業参観や学年PTAに加えて、特別プログラムもご用意しております。ご家族はもちろん、祖父母や親戚、地域の方々にも来校していただきたいと思っておりますので幅広くお声がけいただければ幸いです。申し込みされていない方でも大丈夫です。皆様のご来校をお待ちしております。

地域みんなの

**12月9日(火) 2学期末PTA** WELCOME

地域の方々もぜひ阿仁学園へおいでください！参観自由です♡

**12:25 授業参観**

**13:30 秋田活性化中学生選手権プレゼン**

**13:50 書道パフォーマンス(大筆体験)**

**15:00 PTA全体会**

**15:30 学年PTA**

**16:10 PTA親睦バレーボール大会**

**3年連続  
最優秀賞**

### おすすめ！

#### 1 受賞プレゼンを披露！

秋田活性化中学生選手権全県大会で最優秀賞を獲得したプレゼンをぜひご覧ください。

#### 2 ようこそ、先輩！

本校卒業生の田口椿さんが所属する大曲高校書道部が来校し、書道パフォーマンスを披露してくれます。後半は、全校児童生徒が実際に大筆で書く体験をします。

※大筆体験の際は、可能な範囲で黒い服や靴下、汚れても大丈夫な服装などをご準備いただければ有難いです。

## ★★★ 元気はつらつ！笑顔あふれる阿仁学園オリンピック！

11月28日(金)に、保健委員会主催の阿仁学園オリンピックが行われました。この活動は、かつて阿仁合小学校で行われていたものですが、今回は後期課程の生徒も一緒に行いました。種目は、ぞうきんがけリレーとフラフープおにごっこ。学年の垣根を超えて、みんなが笑顔で運動を楽しむことができました。



5・6年生を中心に進行



ぞうきんがけリレー



フラフープおにごっこ



展開を見守る子どもたち

### 「引き続き熊対応へのご協力をお願いします」

12月に入っても各地で熊が出没しております。先週は本校グラウンドでも小熊が目撃されており、依然警戒が必要な状況です。来週以降も、安全最優先という事情をご理解いただき、ご家庭による送り迎え、または臨時バスへのご協力をよろしくお願いいたします。

# Topics

## ノート100冊



今年も秋田活性化中学生選手権でノートが100冊いただきました。全校に1冊ずつ配付しました。

## スーパーの見学



3年生がいとく鷹巣店を訪問し、店内だけでなく、バックヤードも見学させていただきました。

## 税に関する作文



来羽さんの作文「ヒーローは隠れている」が大館税務署長賞を受賞し、賞状が授与されました。

## 全校朝会



武石先生が「さあにぎやかにいただく」という合言葉を示し、食の大切さを話してくれました。

## 生活科まちたんけん



1・2年生が鷹巣図書館を訪問し、館内の見学をしたり、職員の方々にインタビューしたりしました。

## 放送劇



生活委員会が、読書を推進するため、昼の放送で朗読劇を披露しました。なかなかの声優ぞろいでした。

## 北秋田市読書感想文・感想画コンクール

### 【感想文】

入選 4年 片岡 恵愛「水族館の飼育員さんはすごい！」

### 【感想画】

入選 1年 細貝 在「クリームソーダにはいったしろくまちゃん」

入選した在さんの作品



## 梅井さんに表彰状～大館・北秋田PTA連合会～

大館・北秋田PTA連合会から、PTA活動に顕著な貢献を挙げた方々に表彰状が授与されました。本校からは、梅井沙織さん（9年冨太郎）が選出されました。梅井さんは、阿仁合小と阿仁学園でそれぞれ副会長を務められ、本地区PTA活動の活性化にご尽力いただきました。これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、この度の受賞を心よりお喜び申し上げます。



「勝ち負けにこだわらず…」とは言うものの…。チームが負けているときに、「別にいいんじゃない。勝ち負けは関係ないから。」とクールなもの、それはそれで何だかちょっと寂しい気もする。

先日の阿仁学園オリンピック。ぞうきんがけリレーもフラフープおにごっこも白熱した熱戦となった。レクリエーションとはいえ、勝負事となれば勝ちたくなるのは当然のこと。各チームの黄色い声援が体育館中に響き渡った。

レース後の結果発表。1位から4位、どのチームも笑顔が溢れている。勝ったから楽しい、負けたからつまらない…で完結していない。きっと、この子たちは、勝ち負けそのものよりも、それまでの工夫や協力、すなわち「勝ち負けを競うこと」を楽しんでいるのだろう。まさに、オリンピック精神ではないか。

雑巾がけリレーの出走順を相談する子どもたち

